



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年2月2日朝刊中部版

自分が通う学校の魅力をPRしようと、牧之原市の牧之原小5年生が1日、10年間にわたり同校の児童が踊り続けているダンス「協力平」を小型無人機ドローンを使って撮影した。

牧之原小の魅力 ダンス「協力平」で ドローン撮影、PR

①牧之原小の児童のダンス「協力平」は何年間続けられていますか。
()年

②ダンスの名前になっている「協力平」とは、どんなところですか。記事の中で、それがわかるところに線を引きましょう。

③「協力平」のダンスをドローンで撮影した目的は何ですか。



ダンス「協力平」のドローンによる撮影に臨む児童
＝牧之原市の牧之原小

昭和期に地元住民が協力して開墾した土地に同校が建設されたことから、振り付けを考案した踊り

5年生16人が息合わせ

のタイトルになっている、高学年の児童が毎年、運動会でダンスを披露している。

総合学習の一環で、動画のコンセプトや撮影方法などを児童が主体となって考えてきた。撮影本番のこの日は、ドローン教習所の運営も展開する榛南自動車学校(同市細江)の社員がカメラ付きのドローンを操縦。16人の児童による息の合った踊りを、上空から動画に収めた。

動画制作には、情報通信技術(ICT)教育に取り組みむ地元団体「マキノハラボ」も協力。今後編集を進め、2020年度内にインターネット上で公開することを目指している。

(榛原支局・相松孝暢)

④記事を参考に、「協力平」のダンスの魅力を20字以内で書いてみましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/体育、保健体育、特別活動、総合)

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年2月2日朝刊中部版

自分が通う学校の魅力をPRしようと、牧之原市の牧之原小5年生が1日、10年間にわたり同校の児童が踊り続けているダンス「協力平」を小型無人機ドローンを使って撮影した。

牧之原小の魅力 ダンス「協力平」で ドローン撮影、PR

①牧之原小の児童のダンス「協力平」は何年間続けられていますか。
(10)年

②ダンスの名前になっている「協力平」とは、どんなところですか。記事の中で、それがわかるところに線を引きましょう。

本文1段1行目～2段2行目「昭和期に～呼ばれている。」に線を引く。

③「協力平」のダンスをドローンで撮影した目的は何ですか。

(例)(インターネットで動画を公開し、)自分が通う学校の魅力をPRするため。



ダンス「協力平」のドローンによる撮影に臨む児童
＝牧之原市の牧之原小

昭和期に地元住民が協力して開墾した土地に同校が建設されたことから、同校がある場所は協力平と呼ばれている。教員が振り付けを考案した踊り

5年生16人が息合わせ

のタイトルになっている、高学年の児童が毎年、運動会でダンスを披露している。

総合学習の一環で、動画のコンセプトや撮影方法などを児童が主体となって考えてきた。撮影本番のこの日は、ドローン教習所の運営も展開する榛南自動車学校(同市細江)の社員がカメラ付きのドローンを操縦。16人の児童による息の合った踊りを、上空から動画に収めた。

動画制作には、情報通信技術(ICT)教育に取り組みむ地元団体「マキノハラボ」も協力。今後編集を進め、2020年度内にインターネット上で公開することを目指している。

(榛原支局・相松孝暢)

④記事を参考に、「協力平」のダンスの魅力を20字以内で書いてみましょう(句読点を含みます)。

(例)
20字

牧	之	原	小	1	6	人	の	児	童
に	よ	る	息	の	合	っ	た	踊	り

年 組 名前